

まんのう町教育委員会だより

爽風

そうふう

子どもの健やかな成長を願って

平成29年【2017】

10月1日発行

! Vol.3
Contents



- P.2-4 特集
こども園はいま
- P.5 シリーズ
子育てを考える
- P.6-7 園・学校ウォッチング
高篠小学校・長炭こども園
- P.8-9 まんのう町
教育委員会の歩み
- P.10 ホットニュース
- P.11 関係機関からのお知らせ

How are you ?
I'm fine!!

高篠小学校1年 外国語活動 (6ページに関連記事)





こども園には
 瞳をきらきらさせながら
 夢中になって遊ぶ子どもたちがいる
 年長さんは、年下の子に優しく声をかけ
 小さい子は
 年長さんのすることをじっと見て、あこがれ
 やがて同じように遊び始める
 横には
 その心もちに、そっと寄り添う先生たちがいて
 遊びがどんどん発展し
 気づきや発見でいっぱいになるよう
 材料を工夫し、環境を準備して
 遊びのゆくえを
 わくわくしながら、見守っている
 時には、地域に出かけ
 四季折々の自然に触れて歩いたり
 園にやってきた地域の方に
 絵本を読んでもらったり、一緒に野菜をつくらたり
 園での一日を満足して終え
 迎えにきた保護者も、また
 先生と、わが子の話で心があたまり
 子育ての喜びを感じながら
 「また、あした」と
 手をつないで帰っていく
 豊かなつながりとあたたかいまなざしの中で
 家庭や地域と手を携えながら
 自立の基礎を育んでいく
 まんのう町は、そんなこども園をめざしている

こども園は いま



はい、チーズ!カシャ



みんなでおそうじ



小学生との交流



遊具でなかよく



夕涼み会 (夜店屋さん)



親子で水やり



秘密基地の旗が完成!



いものつるさし (地域の方と)

教育と保育

まんのう町内の6つのこども園がスタートして、2年目を迎えました。
 こども園は、幼児期の教育を行う幼稚園の機能と、保護者に代わって保育を行う保育所の機能の両方を併せ持つ施設で、親の就労の有無にかかわらず、0歳から(高篠と四条は3歳から)利用できます。

各こども園では、3歳児以上の園児に、一日4時間程度の「教育」を行います。これは、こども園の学習指導要領に当たる「教育・保育要領」に基づいて行われるもので、そこに定められている5つの領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の内容を、相互に関連させながら指導します。
 また、3歳児未満の園児には、安心で安全な環境に配慮し、生命の保持と情緒の安定を第一に考えた「保育」を行っています。

遊びの中で学ぶ

乳幼児期は、知識を教えられて身に付けるのではなく、遊びの中

子育て支援

で学んでいく時期だと言われています。そこで、こども園の先生方は、子どもたちが身の回りの「もの」「や」「こと」に自分からかわつていき、夢中になって遊び、そこからたくさん発見や気づきが生まれるよう、環境を工夫しています。こうした遊びの中で異年齢の幅広い交流ができるのも、こども園のよさであると言えます。

教育・保育と並んでこども園の大切な役割となっているのが、「子育て支援」です。
 送迎時に子どもの状況や子育ての悩みについて保護者と話し合ったり、写真掲示や園通信をおして園の様子をくわしく情報提供したりします。また、子育て座談会や家庭教育学級を開催して、保護者同士の交流や学習の場をつくっています。

さらに、未就園児の保護者のためには、現在、長炭と仲南のこども園に「子育て支援ルーム」があり、子育てサークルを実施したり保護者の相談に応じたりしています。



本校では、現在、1年から6年まで全学年で、毎週1時間、外国語（英語）活動を実施しています。1・4年生は、オーストラリア人のALT（外国語指導助手）ティム先生と学級担任が、5・6年生は、英語に堪能な特別非常勤講師と学級担任が、二人で協力しながら授業を行っています。子どもたちは、週1回の外国語活動をとっても楽しみにしており、「今日はティム先生が来るので楽しみ。」とか、「やった、次の時間は英語や。うれしい。」という声をよく聞きます。

楽しみながら英語に慣れ親しむ

1・4年の外国語活動では、「英語の音声に慣れ親しむこと」や「ミニレクレーションを図る楽しさを体験すること」を大切にしています。基本的に文字は使わず、絵やジェスチャーを使って活動します。

たとえば、1年生が動物の名前を覚えるのであれば、虎の絵を見ながらティム先生の後について大きな声で「tiger（虎）」と発音します。さらに、虎が襲いかかるようなジェスチャーを加えて、何度も発音を繰り返すのです。



また、ゲームやクイズなどを取り入れながら繰り返すことで、英語の音声や表現に慣れさせることも多いです。3年生は、「英語で遊ぶ」を楽しみました。サイコロを振って、動物のマスに止まれば「What animal do you like?（あなたは何の動物が好き?）」と質問します。同じ様に好きな飲み物、食べ物、色、アニメなどを質問したり答えたりしながら、ゴールをめざしました。

デジタル教材を使って

5・6年生は、文部科学省配布のデジタル教材を使って授業を進めています。

6年生では、canやcant（できる、できない）の入った英文を聞いてできること、できないことを協働作業で黒板に整理しました。このような活動を通して、自分から進んで英語を聞く習慣が身につきます。

5年生では、「チャンツ」と呼ばれる、英語を歌のように発音させて英語独特のリズムや抑揚を体感させる方法で、数を尋ね

教科「外国語」に向けて

高篠小学校

グローバル化がますます進むこれからの社会で、子どもたちが「友だちを作りたい」「情報や知識を得たい」「自分の考えを伝えたい」と思ったとき英語ができることは、より豊かで幸せな人生につながります。

本校の外国語活動では、仲間や教師とかわりながら、英語を使って積極的にコミュニケーションしようとする意欲や態度を育てています。



教員の指導力向上をめざして

平成32年度から、5・6年生の外国語活動は「外国語」という教科になります。この教科化に向け、学級担任が一人でも授業を行えるよう、指導者を招いての校内研究授業も行っています。

子どもたちが「英語で楽しい」と感じ、自分から積極的に学んでいく授業をめざして、これからも全職員で研修に努めます。

豊かなつながりの中で

今年の夏は、猛暑日続き。けれども、暑い日差しの中でも子どもたちはプールや小川で歓声をあげ、元気がいそいそ。

プールでは、友だちと競争したり、一緒に挑戦したりしながらぐんぐん遊びをつくり出し、小川では、水や泥の感触を楽しみながら、その心地よさを味わっていました。

豊かなつながりの中で心と体は開放され、子どもたちはぐんぐん遊びに夢中になっていきます。そして、このような経験の積み重ねが、子どもたちの自信につながっていくのです。

長炭こども園では、恵まれた自然環境を生かした環境構成や支援に努め、自立へ向かう土台づくりに取り組んでいます。



恵まれた自然環境の中で 遊びに没頭

長炭こども園



広がる想像力

「おばけやしきがしたい。」と5歳児の男の子。その発想にみんなが賛同して始まったおばけやしき作り。

いろいろな素材を使い、目玉を額に貼ったり、手にドリルを付たりして、どちらが怖そうか、試行錯誤の毎日。みんなに来てほしいとチケットをつくり、年少の子どもたちに「おばけやしきに来てね」と手渡す5歳児の女の子。

翌日朝、「これ見て。」と姉からもらったチケットを大切にに見せてくれた5歳児はわくわく、ときどきの表情。

その後も、効果音やカーテン、電気などを使って、隠れ方や驚かす方考えるなど、工夫はどんどん広がっていきます。互いに刺激し合い、影響し合いながら新しいものをつくり出していく、子どもたちの想像力は無限大です。

動植物とのふれあい

動植物とふれあうことは、命を感じ心動かされるよい経験となっています。ウサギを抱きかかえる姿は真剣そのもの。ウサギを体で感じながら、その動きや表情を見つめ、手を緩めたり力を込めたり。程よい力の入れ具合をつかんでいるようです。その手の優しさにはわりや思いやりの心を感じます。

子育て支援ルーム

長炭こども園には、子育て支援ルームがあります。ここでは、未就園親子が交流したり、子育てについての悩みを話し合ったりしています。そのような活動をおして、少しでも子育て家族の負担感や不安を和らげることができるよう支援しています。



子育て支援ルームで交流

7/27 四条こども園にて



7～8月 一日保育体験

小・中学校の先生方がこども園に入り、こども園の先生方と一緒に園児にかかわったり環境構成を体験したりすることによって、子ども理解のし方や一人一人に応じた支援のし方について学びました。
各こども園にて

8/22 小中学校研究員会

小・中学校の研究主任が1学期の各校の実践を持ち寄り、2学期に向けて授業改善の視点を話し合いました。
役場第2会議室にて

8/25 集団づくり研修会

まんのう町SSWer藤澤先生の指導のもと、子どもに寄り添うための「聴く」スキルの向上をめざして、研修を行いました。
役場大会議室にて



8/28 校長塾

小・中学校の校長先生が集まり、「自立に向かう教育」の実現に向けて、これからの学校経営をどのようにしていくかについて話し合いました。
かりん会館にて



8/3 人権・同和教育研修

香川県教育委員会人権・同和教育課の小笠原善実先生をお迎えして、「豊かな人権感覚を育てる学校・学級づくり」と題してご講話をいただきました。
長尾会館にて



教育研究所で 先生たちも学んでいます

7/26 こども園研究員会

各こども園の研究主任が集まり、香川大学松井剛太先生のご指導のもと、各園の今年度の研究課題を決めました。
役場第2会議室にて



研究発表会
実施校

県外からの指導者

仲南小
(10月に
実施予定)



・高木展郎先生
(横浜国立大学名誉教授・
10月来町予定)

・佐藤孝先生
(10月来町予定)

・志水宏吉先生
(1月来町予定)

・秋田喜代美先生
(2月来町予定)

長炭小
四条小



・志水宏吉先生
・秋田喜代美先生
・佐藤孝先生

高篠小
満南小



・志水宏吉先生
・秋田喜代美先生
(東京大学大学院教授)

満濃中
満南小



・志水宏吉先生

琴南中
長炭小

・志水宏吉先生
・佐藤孝先生
(学習院大学教授)

琴南小
仲南小

・志水宏吉先生
(大阪大学大学院教授)

23

●優秀で他の模範となる児童・生徒に「まんのう町教育委員会表彰」を始める

●教師塾(町内教員を対象とした勉強会で、土曜日または日曜日に開催)を始める
●教育研究所主催の研修会で、県外から著名な研究者を指導者として招く(以後毎年、上記のとおり招聘している)

●満濃中学校の新校舎が完成する
●町立図書館、スポーツセンターまんのうがオープンする
●小1から中3を35人学級とする

●志水先生ををリーダーとした大阪大学の院生・研修生からなるグループが、まんのう調査を行う。
●まんのう町内の学校の強みと弱みを明らかにする
●学校生活や家庭生活と学力との関係を探明かにする
●年度末に、最終報告会を開催する

●教育研究所に専任の所長を置く

●指導主事が2名になる
●仲南東幼稚園、仲南北幼稚園、仲南東保育所が統合し、仲南こども園ができる
●早期支援教育センター「たむ」を設置する
●満濃中学校改築対策室を解散する
●琴南中学校が閉校する

28

●町内の公立保育所、幼稚園がすべてこども園になる

●琴南中学校と満濃中学校が統合する
●新教育委員会制度になり、委員長と教育長が一本化される

●「社会教育課」を「生涯学習課」と改名する
●少年育成センターから適応指導教室を分離し、適応支援センター「いくむ」と改名する
●早期支援教育センター「たむ」、適応支援センター「いくむ」、少年育成センター「らいむ」の3センターが連携して町内の園・学校を支援できるように、「教育支援機構」を立ち上げる

29

●教育次長を置く
●学校教育課内に「教育指導室」を設置する
●指導主事が3名になる
●教育委員会日より「爽風」を発刊する
●民具展示室を開設する
●満濃南こども園の園舎検討委員会を立ち上げる



まんのう町教育委員会の歩み

平成
年度

●「まんのう町」の誕生に伴い、「まんのう町教育委員会」となる

●指導主事1名を置く
●仲南小学校が開校する
●仲南中学校と満濃中学校が統合する

●教育研究所を設立する

●町内教員の指導力の向上をめざした各種研修を始める

●満濃中学校改築対策室を設置する
●琴平地区少年育成センターが琴平とまんのうに分かれ、まんのう町少年育成センターができる

22

●町内の教育力の向上を図るため、研究指定校制度を始める

●町内の小・中学校のうち毎年2校ずつが、教育委員会から2年間の研究指定を受ける

●2年目に町内全教員が参加しての研究発表会を行う(各年度に研究発表会を行った学校は、上記のとおり)



関係機関からのお知らせ

まんのう町国際交流協会から

(国際交流協会事務局 竹下 陽子)

豊かな国際感覚を養うとともに、将来への夢や郷土を愛する心を育むことを目的に、中学2年生23名が、英語を公用語としている国シンガポールへ海外研修に行きました。



シンガポールは、宇宙船のようなホテルや最新の未来的な植物園で有名ですが、現在では世界的なビジネス拠点であり、世界の富裕国の一つです。

**シンガポールへ！
中学生海外派遣**

(8月17日～21日)

まんのう町スクールソーシャルワーカー(SSWer)から

私たちは、さまざまな人・物・場所とのつながりの中で生活しています。心地よいつながりもあれば、つながりに悩むこともあります。

悩みや不安を抱えながら、「いついかに」優先「家族」優先になってしまい、自分のケアが後回しになっていることはありませんか？自分を大切にできるひとときを持っていますか？自分に合った気分転換をお持ちですか？

自分の気持ちに余裕がないと、子どもにも家族にも、うまく向き合うことが難しくなります。もし一人で抱え込んでいるなら、余裕がないなあと思ったら、だれかに話を聞いてもらうことは、とても大切です。



自分も大切に

まんのう町教育支援機構から

子どもたちのつながりを大切にするためには、育児中の親自身も大切に守られることが必要だと思います。子どもも親もともに支え合っている輪を、みなでつなげていきたいと思います。

子どもとのつながりを大切にするためには、育児中の親自身も大切に守られることが必要だと思います。子どもも親もともに支え合っている輪を、みなでつなげていきたいと思います。

子どもとのつながりを大切にするためには、育児中の親自身も大切に守られることが必要だと思います。子どもも親もともに支え合っている輪を、みなでつなげていきたいと思います。

子どもとのつながりを大切にするためには、育児中の親自身も大切に守られることが必要だと思います。子どもも親もともに支え合っている輪を、みなでつなげていきたいと思います。

『いっしょに』を

仲多度郡・普通寺市 小学生水泳記録会〈まんのう会場〉



7:21 (於：満濃南小学校)

50m自由形		5女①近藤沙莉 (四條)
5女②門田渚沙 (高橋)		5女③柴坂紗南 (高橋)
5男①松浦陸斗 (満濃南)		5男②大関恒汰 (高橋)
5男③渡邊渉真 (満濃南)		6女①梶野天歌 (高橋)
6女②吉田英未 (満濃南)		6女③片山莉紗 (満濃南)
6男①小倉琉聖 (高橋)		6男②三好 弾 (琴南)
6男③下川貴弘 (満濃南)		
50m平泳ぎ		5女①鶴岡果奈 (四條)
5女②竹下里美 (仲南)		5女③大谷望愛 (長炭)
5男①葛原快生 (仲南)		5男②葛原快生 (仲南)
5男③葛原快生 (仲南)		6女①秦 菜純 (満濃南)
6女②香川 萌 (仲南)		6女③長尾麻優子 (満濃南)
6男①丸尾悠人 (満濃南)		6男②長尾隼斗 (四條)
6男③長尾隼斗 (四條)		
50m背泳ぎ		5女①造田香里 (琴南)
5女②高嶋陽奈 (四條)		5男①岡崎なみ (長炭)
5男②福江真和 (高橋)		5男③若井孝太郎 (満濃南)
6女①高嶋佑奈 (四條)		6女②田岡瑞依 (満濃南)
6女③宮崎 結 (満濃南)		6男①川岡勝道 (琴南)
6男②宮崎 優 (満濃南)		
25mバタフライ		5女①篠原桜香 (四條)
5女②西上玲奈 (仲南)		5男①鈴木結方 (四條)
5男②三好光輝 (仲南)		5男③神奈直暉 (満濃南)
6女①香川碧美 (四條)		6女②大池真由 (満濃南)
6女③新家 海 (満濃南)		6男①新家 海 (満濃南)
6男②田中 樹 (仲南)		6男③宇坂剛史 (長炭)
50mバタフライ		5女①四條A 高嶋 鈴木・篠原・近藤
5女②仲南A 丸山・竹下・西上・西大		5女③長炭A 岡崎・大谷・平川・西山
5男①高橋A 橋本・河野・福江・大関		5男②仲南A 大貫・阿宅・和泉・葛原
5男③満濃南A 岩井・豊我部・地藤・松浦		6女①満濃南A 田岡・秦・大池・吉田
6女②四條A 高嶋・小國・香川・石堂		6女③仲南A 大池・香川・長尾・上村
6男①満濃南A 寒川・丸尾・新家・下川		6男②満濃南A 吉田・新名・西川・久保田
6男③四條A 宮崎・長尾・西山・高木		
100mメドレーリレー		5女①四條A 近藤・篠原・高嶋・平田
5女②仲南A 丸山・山下・西上・西大		5女③満濃南A 篠原・松葉・大山大池
5男①満濃南A 地藤・澤澤・豊我部・松浦		5男②高橋A 河野・橋本・福江・大関
5男③仲南A 大貫・阿宅・和泉・葛原		6女①満濃南A 木村・片山・田岡・吉田
6女②高橋A 岡田・横田・折目・梶野		6女③満濃南A 三宅・上原・大池・三好
6男①満濃南A 久保田・寒川・吉田・下山		6男②四條A 西山・長尾・高木・宮崎
6男③高橋A 西山・浦山・大津・小倉		
200mフリースタイル		

満濃中学校 大会結果

● 郡市大会 (団体の優勝・準優勝のみ)

部活名	結果
剣 道	男子 優勝 女子 優勝
軟式野球	優勝
ソフトボール	準優勝
バレーボール	男子 優勝 女子 優勝
バスケットボール	男子 優勝
卓 球	女子 優勝
ソフトテニス	女子 準優勝

※紙面の都合で、郡市大会は団体の優勝・準優勝のみ、県大会は優勝・準優勝のみ掲載させていただきます。

● 県大会 (優勝・準優勝のみ)

部活名	結果
軟式野球	優勝
バレーボール	女子 準優勝
ソフトテニス	女子 優勝

● 四国大会

部活名	結果
軟式野球	3位
ソフトテニス 女子個人の部	増田 高橋 5位

● 全国大会出場

部活名	出場者
ソフトテニス	増田 菜々 高橋ひかる
なぎなた	宇坂 玲奈 山下 咲樹 長井

**第6回
さかいで・なかとど・あやうた
算数・数学オリピック**

7:30 (於：坂出中学校)

【入賞者】
金 賞 山内 蒼太 (仲南小 6年)
優秀賞 金森隆太郎 (四條小 5年)
優秀賞 近石 優樹 (満濃中 1年)



(左から増田・高橋)



(左から宇坂・山下・長井)

できるかな？



自然がいっぱいの園庭で
次々と遊びをつくりだす天才たち
長炭こども園にて
(7ページに関連記事)

特集

写真でたどる
なつかしの学校
※町所蔵の写真で、な
つかしい学校のすが
たを紹介します。

園・学校ウォッチング

- ・長炭小学校
- ・高篠こども園

シリーズ

子育てを
考える



次号(12月1日発行) 予告

「ひふみん」の愛称で知られる将棋の加藤二二三九段が引退し、大きな話題となりました。そのひふみの得意技、「ひふみんアイ」をご存じでしょうか。対局中に将棋盤を反対側から見るとは。棋士なら誰でも、頭の中で盤面をひっくり返して形勢判断をするそうですが、ひふみんの場合は、実際に相手側に移動して盤面を見るところでした。

これを初めて行った時に素晴らしい妙手を発見し快勝したことで、以来、ひふみんの定番になったと言われています。同じ局面でも、見方を変えることで違って見え、新たな読みができるということでしょう。

「ひふみんアイ」は、教育においても大事にしたい視点です。

まんのう町の学校やこども園では、全教職員で全部の子どもを育てることを合言葉にしています。それは、単に「世話をする手が増える」という数の問題ではありません。「一人の子どもをたくさん目の目で多面的に見ることが大事なのです。担任二人が同じ方向から見ているだけでは、その子の見える部分は限られてしまいますが、たくさんの目で様々な方向から見ること、より深い子ども理解ができます。

子どもの健やかな成長のために、「ひふみんアイ」の視点を忘れないようにしたいものです。

編集後記



平成29年【2017】10月1日発行

Vol.3

まんのう町教育委員会より

爽風

発行責任者：まんのう町教育委員会

〒766-8503 香川県仲多度郡まんのう町吉野下430番地

TEL (0877) 73-0108 FAX (0877) 73-0113